

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。

今月分の請求書を送付いたしますので、ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

この度の台風 15 号で被害にあわれた皆さまに心からお見舞い申し上げます。一日も早くライフラインが復旧します様に。また、復旧作業・工事にご尽力くださっている皆さまが安全に作業できます様に、お祈り申し上げます。

夏の日差しが残るある日、滋賀県民の知人がおススメの東近江市のパワースポット太郎坊宮へ行ってきました。正式名称は「阿賀大社」、靈験のあらたかさ、お力の強さから聖徳太子が信仰したと伝えられています。お山の名前は「赤神山」で太郎坊は赤神山にいる天狗の名前です。この太郎坊さんは、京都・鞍馬山の天狗のお兄さんと言われています。ちなみに、鞍馬山で牛若丸（源義経）が剣術をならったという天狗と同一人物(?) かどうかは不明です。

近江八幡から近江鉄道に乗り換えて 15 分ほど揺られると太郎坊宮前駅に到着です。無人の小さな駅をでると大きな石鳥居のむこうに、ところどころ岩肌があらわになった山がみえました。中腹には立派な建物があります。うっ、あそこまで登るのか…。いや、本殿はもっと上なのかもしれない…。少々気が重くなりつつ、田んぼの間の参道を歩いていきました。サワサワと稲をなでる風の音と、ときどきすれちがう車の音。空は青くて緑がゆたかで静かで気持ちの良い場所でした。

山の下まで来ると急にひんやりとしてきて、あとは石段を登るばかり。運動不足の身体には堪えますが、登るしかないのです。中腹にある立派な建物は、参集殿でした。石段は全体で約 740 段、ここまでが特にキツかったのですが、実は参集殿までは車で来ることもできるそうです。まだまだ石段はつづいており、のこり約 250 段。無心でのぼっていると、階段の先に大きな岩がそびえ立ちます。夫婦岩です。岩と岩のあいだの細い道を通り抜けると、目の前にさらに石段があり、そのうえに本殿がありました。眼下に広がるのは万葉集で知られる「蒲生野」とよばれているそうです。西暦 668 年、蒲生野での薬獵のときに詠み交わされた額田王と大海人皇子の恋の歌があります。

茜さす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る（額田王）

紫のにはほへる妹を憎くあらば人妻故に我れ恋ひめやも（大海人皇子）

万葉ロマンですね！

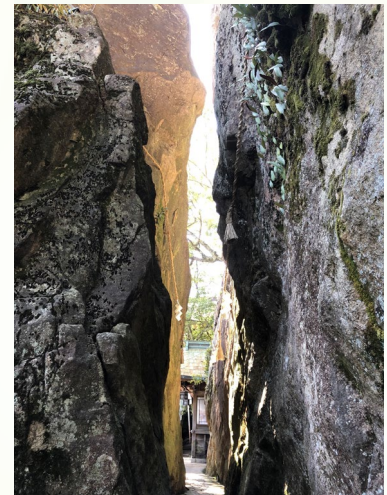
ちかくには、瓦屋禅寺というお寺もあるそうです。聖徳太子が四天王寺を建立するため、この地で 10 万 8000 枚の瓦を焼き、その瓦を管理するために建立したと伝わります。我が家は四天王寺の近所ですが、電車でも片道 2 時間…一体どうやって運んだのでしょうか。また近くに来る機会があれば行ってみます。

台風が多くなりそうということですが、これ以上の被害がおきないことを祈るばかりです。

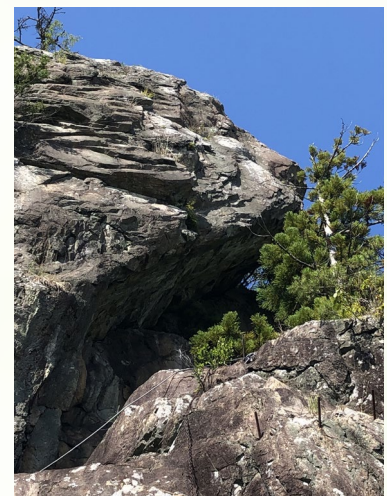
皆さまも夏のお疲れがでませんように、どうぞご自愛くださいませ。



三角のお山が赤神山。



夫婦岩の間を通り抜けます



男岩の頂上は、ライオンの横顔みたい



グリーンのパッチワークの様な
田畑が広がります。

今月も最後まで読んで頂きまして、ありがとうございました。

来月もよろしくお願いたします。